

教育DXサービスマップの利用イメージ（1 / 2）

教育DXサービスマップは、学校等にデジタル環境の整備・導入を検討されている教育委員会や学校関係者が、容易に教育分野のデジタル技術を活用したサービスの情報を得ることを目的としたwebサイトです。

URL : <https://ppp-education-dx.jp/>

第一階層 サービスマップ概要

教育DXサービスマップ（実証ベータ版）

最終更新日：2024年3月19日

本サイトは、学校現場にICT環境の導入を検討している自治体、教育委員会向けのウェブサイトです。学校現場のICT活用を進める教育関係者の方々の用途に応じたそれぞれのカテゴリで、有用なサービスを掲載しています。本サイトは、利用者のフィードバックを経て、改善や掲載コンテンツの拡充を順次行っています。各サービスカテゴリをクリックすると、詳細のカタログ情報が表示されます。※サービスカテゴリの（ ）内は、登録されているサービス数です。

- 校務支援システム (25)**
 - 児童生徒の在籍・出欠管理（名簿の作成、日々の出欠管理、出欠席情報の月末報告等）
 - 日々の成績管理（テスト等のデータ入力・統計・評価）
 - 学期末・年度末の成績・統計・評定処理
 - 通知表の作成/管理
 - 指導要録（学級/指導に関する記録）の作成
 - 時数管理、施設管理、サービス管理
 - 教職員間の情報共有の操作支援
 - 家庭や地域への情報発信の操作支援
- 学習eポータル**
 - 学習の窓口機能
 - 連携のハブ機能
 - MEXCBTへのアクセス機能
 - 初等中等教育（学校教育）に適した共通で必要な学習管理機能を備えたソフトウェアシステム
- 授業支援・協働学習支援 (36)**
 - クラス編成、グループ編成等の学習者管理
 - デジタルノート等の協働学習ツール
 - 教材作成、一言/個別配布等の教材管理
 - 児童生徒の画面をリアルタイムに表示・モニタリング
- ドリル教材、外国語教材 (36)**
 - 小学、中学、高校毎のドリル教材
 - 教科別ドリル教材
 - 手書き解答の自動採点・反映
 - 解答前のヒント、採点後の開設等
 - クラス毎の進捗表示、正誤記録
 - 英語の対応領域（聞くこと、読むこと、話すこと(やり取り)、話すこと(発表)、書くこと)に対応した教材
- 情報教育 (21)**
 - 基本操作、キーボード練習
 - プログラミング教育
 - 情報モラル教育
 - デジタル・シティズンシップ教育
 - メディアリテラシー教育
 - 著作権教育
 - 情報セキュリティ教育
 - データの活用教育

将来的に、各システムがデータでつながり、主体的・対話的で深い学びを実現し、誰ひとり取り残されない教育の実現につなげていく。

第二階層 各サービスの一覧カタログ

教育DXサービスカタログ

検索結果：20件

検索条件: 検索結果、登録済サービス、利用済サービス、未登録サービス

サービス一覧

- 総合型校務支援システム「00000000」
- 校務支援システム「0000」
- 学習eポータル
- 授業支援・協働学習支援「00000000」
- ドリル教材、外国語教材「00000000」
- 情報教育「00000000」

第三階層 各サービスの詳細（校務系）

教育DXサービスカタログ

総合型校務支援システム「00000000」（小・中校向け）
校務支援システム「0000」（高等学校向け）

サービス紹介

サービス概要

サービス内容

サービス詳細

サービス更新履歴

サービスお問い合わせ

第三階層 各サービスの詳細（学習系）

教育DXサービスカタログ

授業支援：デジタルノート「00000000」

サービス紹介

サービス概要

サービス内容

サービス詳細

サービス更新履歴

サービスお問い合わせ

webサイト改善に向けた多様なご意見をお待ちしています。

◆問合せ先 教育DXサービスマップのHPをご参照ください。

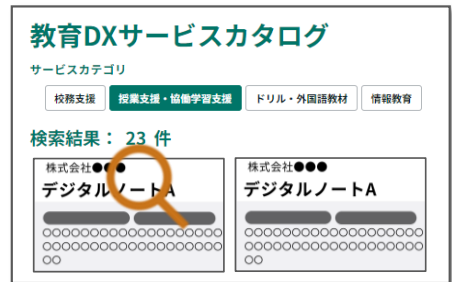
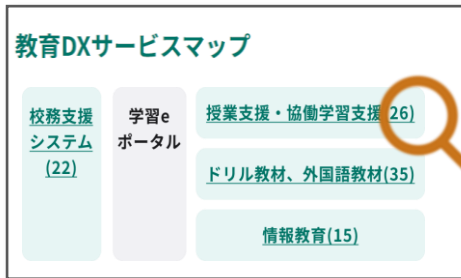
教育DXサービスマップの利用イメージ（2 / 2）

調査フェーズ

1. 教育DXサービスマップサイトを用いてサービス情報を収集する。

「教育DXサービスマップ」サイトで探したいサービスのカテゴリを選択します。

各カタログの一覧から、各企業のサービスの概要や特徴を確認します。



教育DXサービスマップは、常に見れるようにブックマークしておいてください。

対話フェーズ

2. 教育DXサービスマップの各カタログに掲載されているサービス概要やスペックを確認し、事業者にお問い合わせ、対話する。



導入したいサービスの候補を選定し、問い合わせ先から事業者に対して、問合せください。
販売代理店やシステム導入事業者に対しても気になるサービスの各カタログを複数提示し、比較検討することも可能になります。



事業者との対話の際に、是非、教育DXサービスマップを見て比較・検討しているとお伝えてください。

※事業者のサービスが他社と比べてどこに違いがあるのかを説明してもらうようにしましょう。

起案・決裁フェーズ

3. 調達に向けた起案・決裁の際に、類似したサービスを比較し、調達要件の検討や予算調整（見積の取得等）を行う。

教育DXサービスマップを用いることで複数サービスの比較と、標準スペックや仕様を落とし込むことが容易になります。



サービスマップの比較結果は、決裁時の各所への説明時や、起案文書の添付資料としても是非、ご活用ください。